

方向性1 子どもの可能性を引き出し、伸ばす教育の実現

施策1-1 豊かな遊びと体験を通した幼児期の学びの充実

ポイント

- 安心できる環境で遊びを通じた主体的な学びを促進
- 好奇心や探究心を刺激し、挑戦できる環境づくりを展開
- 地域や異年齢との交流など、幅広い体験機会の提供
- 幼児教育の正確な情報提供による保護者支援



1 施策の方向性

- 幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期です。近年の研究において、人生初期の質の高い教育が、非認知能力の向上に寄与し、その時期の発達にとって重要であることや、その後の人生において長期にわたって、学業達成や職業生活、家庭生活など多面的に良い効果をもたらすことが明らかになっています。
- 幼児は、身の周りの大人が、かけがえのない存在として大切にすることにより、安心感を覚え、自らの力でさまざまな活動に取り組み、成長に必要な体験をしていきます。そのため、幼児の幸せを念頭に、遊びを中心とした主体的な学びや、異年齢との交流や自然体験など様々な経験の中で、失敗と成功を積み重ねながら、自立心や思考力、豊かな感性、協同性などをはぐくみます。
- 幼児の自発的な活動としての遊びは、心と体のバランスを整えた発達の基礎を培うため、幼児が、遊びそのものに夢中になって楽しめる豊かな時間となるよう、好奇心や探究心を刺激し、新しいことに挑戦できる環境づくりを展開していきます。
- 幼児と児童・生徒、地域の大人との日常的な交流を促進し、地域との関わりの中で、幼児が様々な人やものと出会う豊かな体験機会をつくることで、幼児の成長につなげます。
- 近年、教育に関する情報源が多様化し、様々な情報に接する機会が増えています。このような状況の中、幼児教育に関する正確で有用な知識や情報を提供し、保護者が自信をもち、安心して子どもと関わるができるよう、必要な支援を行っていきます。
- 区立幼稚園は、区全体の幼児期における教育の標準園として、地域の実態に即した研究・実践に取り組み、その成果を区全体に浸透させられるよう必要な支援を行っていきます。

2 施策の成果指標

	項目	基準値	目標値	
		R7	中間 R12	最終 R17
1	主体的に遊びに取り組む園児の割合	—	80%	90%
2	主体的な遊びを通した学びを意識して幼児教育を実施している幼児教育施設の割合	—	50%	75%

3 施策に連なる事業

NO	001	事業	幼稚園等における豊かな遊びと体験の推進（学務課）		
内容	<p>私立幼稚園における遊びや体験を通じた特色ある幼児教育の取組を支援し、幼児教育の取組を推進するとともに、幼児教育の重要性を未就学児の保護者に周知し、認知度の向上を図ります。</p> <p>区立幼稚園における絵本の読み聞かせや身近な動植物とのふれあい、地域行事への参加、高齢者とのふれあいなどを取り入れたアプローチカリキュラムの実践及び各幼児教育施設への周知・啓発を通じて、各幼児教育施設における主体的な遊びを通じた学びを意識した幼児教育を推進します。</p> <p>公私立幼稚園における0～2歳の未就園児の預かりの実施を支援し、早期から幼児教育にふれる機会の確保につなげます。</p>				
年度	令和8年度		令和9年度		令和10年度
別 計画	<p>①読み聞かせなどの絵本に親しむ経験の充実</p> <p>②身近な動植物への親しみやふれあい</p> <p>③地域行事への参加や高齢者などとの交流の促進</p> <p>④区立幼稚園におけるアプローチカリキュラムの実践及び周知</p> <p>⑤すくわくプログラムの実施</p> <p>⑥公私立幼稚園におけるこども誰でも通園制度</p> <p>⑦多様な他者とのかかわりの機会の創出事業</p> <p>⑧私立幼稚園における遊びと体験を通じた幼児教育推進事業</p>				

NO	002	事業	私立幼稚園における幼児教育の質向上のための支援（学務課）		
内容	<p>私立幼稚園における環境整備の支援により教育環境の維持・向上を図るほか、公私立幼稚園の保育者に対する研修を通じた支援により保育者のスキルアップを図ります。</p> <p>私立幼稚園保護者の経済的負担軽減及び私立幼稚園の運営支援の取組を通じて、区内の未就学児が安心して質の高い幼児教育を受けられる環境を整備します。</p>				
年度	令和8年度		令和9年度		令和10年度
別 計画	<p>①環境整備費等補助金（31園）</p> <p>②要支援児教育補助金（23園）</p> <p>③私立幼稚園協会補助金を活用した研修実施（年3回）</p> <p>④要支援児教育研修実施（公私立合同：年3回、公立：年3回）</p> <p>⑤私立幼稚園保護者負担軽減の実施</p> <p>⑥私立幼稚園運営支援（区内私立幼稚園：31園）</p>				

コラム②：雨を取り入れた遊び

一日雨が降り続いていた日に、雨との出会いがありました。

子どもたちは、ひっくり返したボウルやバケツに跳ね返る雨粒を見たり、その音を聞いたりしています。

「コン!」「ピシャッ!」耳を澄ませると、様々な音が聞こえてきます。子どもたちは肩をすくめて「また音が鳴った!」、「おもしろい」と目を見合わせます。

「雨の音楽会みたいだね」と、自分の経験に近いイメージを言葉にしてつぶやく姿もありました。

見慣れた雨も視点を変えると、遊びにつながっていくのです。

